

2009国民平和大行進 いよいよ県内入り

「日本海コース」6月11日三崎公園(15日に新潟へ)

「内陸コース」6月13日JR及位駅(20日に福島へ)

最上郡8市町村長全員から核兵器なくせの賛同署名!

「非核日本宣言」請願 新庄市で委員会採択(6/10)

天童市で実行委員会発足し初の平和行進へ

北朝鮮の核実験による逆流の影響はあるもののオバマ演説から急速に展開している核廃絶の世論を証明するかのよう、県内で続々と新しい変化が生まれてきています。

自治体訪問で三つの署名、全首長が快諾(最上8市町村)

6月9日要請文書を事前送付していた郡内8市町村を一日かけ訪問(最上原水協の小野雅央さんと佐々木県事務局長)。戸沢村の9時半から最後の舟形町で閉庁時間ぎりぎりというほど広い地域(小野さんによると香川県と同じ面積とか)。駆け足での訪問でしたが首長とはじっくりと懇談することが出来ました。

「核兵器をなくすことに党派は関係ない。大いに賛同したい」(元木洋介鮭川村長)

「財政再建中で募金は無理だが核廃絶の願いは一緒、賛同したい」(山尾順紀新庄市長)

「小さい町だが戦争の悲惨さを語りついでいきたい」(高橋重夫最上町長)等々とても励まされるメッセージをいただきました。議会中で真室川、金山の両町長には面会できませんでしたが舟形町では副町長、他はすべて首長に直接お会いしその場で署名をいただきました(「核のない世界」「日本非核宣言」「議定書」の3署名)。

「非核日本宣言」を国に求める意見書請願 - 新庄市では委員会採択(16日が本会議)

県のよびかけに応じてこの6月議会に請願の提出をした自治体は新庄市、天童市、米沢市の三つです。新庄市では10日に委員会審査があり可決されました。16日の本会議で採択される予定です。

天童市では11日に委員会審査がありましたが6人中4人が継続や反対に回り否決されました。「他ではどうなのか」という模様見や「北朝鮮の核実験決議をやるのだからしなくていい」という消極派から果ては「日本も核兵器を持つべき」というとんでもない意見まで出たようです。

米沢市では15日に委員会審査。

首長等の賛同署名などおおいに周辺の世論を高めて9月議会に本格的に請願を出して運動を盛上げていきましょう。

天童市で実行委員会発足、15日には初めての市中平和行進も -

3月に県原水協50周年祝賀会会場となった天童市はこれまで地域生協の「平和映画」や平和宣言記念の各種事業など活発に平和活動にとりくんできた地域でしたが、平和行進はやれないできました。地域原水協がなかったことがその大きな要因です。

5月24日に5人で準備会、6月2日には実行委員会(実行委員長・川崎利夫さん、事務局長・瀬野幸男さん)結成ととんとん拍子でことがすすみ、行進後には地域原水協づくりを展望して夏の世界大会や来春のNY行動などへの代表派遣も視野に本格的な動きが始まりました。今回の請願も実行委員会提出

したものです。

初めての平和行進は15日午前11時半天童駅から市役所まで。行進前にはコース上の商店街へ事前訪問（署名とステッカー貼り出しの要請）も展開、市役所前での集会には市長や議長の挨拶も予定しています。

米沢市では平和都市宣言20周年記念で「被爆アオギリ」の植樹18日に

平和都市宣言20周年の昨年、広島市から「被爆アオギリ」を受け市の記念樹にすることが決まりましたが、今年の平和行進時18日に市長も入っての植樹祭がもたれることになりました。

議会・総務文教委員会での請願審査は15日行なわれます。

17日長井市の平和行進、南陽市と同時並行で開催

例年は南陽市から引き継いででの翌日午前中の行進でしたが、今年は同時並行で夜に平和行進することになりました。横断幕や宣伝カーもすでに用意しています。

世界大会長崎へ新日本婦人の会からの代表者決定

今年の世界大会は来春のNPTへ向け盛り上がることは今から確実。日程も金、土、日と週末のため旅券やホテル確保が大変な状況になっています。

県内代表団の受付を開始していますが、新婦人の会では代表がすでに決定、上山市の菊地滋子さんを派遣することになりました。東村山実行委員会でもまもなく代表が決まります。今年は民商県連や天童市からも代表派遣が検討されるなど、新しい動きも生まれています。

県実行委員会では航空券が割安になるようすでに仮押さえしていますが、各団体での代表派遣の検討を早めをお願いします。

《「核兵器のない世界を」 県内自治体首長からの一言メッセージ》

核兵器のない平和な世界を実現しよう。（戸沢村長 渡部秀勝）

日本は世界でただ一つの被爆体験国であり、その悲惨さは身をもって経験しています。村として核兵器根絶に向けて精一杯運動展開をしてみたいです。（大蔵村長 加藤正美）

市民一人ひとりが平和で安全な環境の下、幸せな生活を営むことができる世界の実現を期待します。（新庄市長 山尾順紀）

未来の子供たちに平和を！（真室川町長 井上薫）

核兵器のない安心して生活ができる明るい社会を築く為に最善を尽くして参ります。（舟形町総務課長 高橋剛）

- 県内日程情報 -

やまがた保健生協 恒例の「平和展」で核問題テーマに8月開催

やまがた保健生協では例年夏に「平和展」を企画してきましたが、今年は健康祭りと一緒に8月2日に同施設を使用し行なうことになりました。今年のテーマは「核問題」。資料の問合せと協力のお願いが県原水協にありました。

山形学院高校から高校生が長崎へ

広島の安田女子高校から原爆で生き残った被爆桜を譲り受け敷地内に植樹するなど平和学習に力を入れてきた山形学院高校から被爆地で全国の高校生と交流したいとの問合せが県原水協に入りました。今年の本大会は長崎ですが、あの有名な「高校生1万人署名運動」を広げてきた地、実現すれば山形の高校生との貴重な交流となるでしょう。世界大会パンフ15部の申込がありました。